

ドイツ連邦共和国 フランクフルト・アム・マイン市
ペーター・フェルトマン市長による演説概要
(2016年1月12日)

林市長、
梶村議長、
加藤副議長、

今日この場におりますことは、私たちや、私たちの訪問団、そしてまた、私個人にとりましても非常な名誉であり、また喜びでもあります。

この機会に、心よりの謝意を表したいと思います。横浜市のホスピタリティと皆様のご厚情にとても感動いたしました。私たちは最初の瞬間から心地よく過ごすことができ、まるで自分の家にいるような気持でおります。

2011 年以來、両市はパートナー都市として緊密な関係にあり、友好の絆はますます強くなっております。

林市長と当時の議長がわれわれの故郷フランクフルトを訪問されたのに続き、今回は私たちがこの魅力に満ちた都市を訪問できたことに、心より感謝しております。

皆様、日本はドイツから見て魅力に富んだ国です。相反する要素がありながら、それが調和している国。伝統と現代が共存する国です。まさにその点が、われわれドイツ人が魅力的だと感じる点であります。

フランクフルトは長きにわたり、日本と緊密な関係にあります。それは、毎日のフライトだけのことではありません。フランクフルトとその周辺には、総領事館、日本人学校、幼稚園などの施設が整っており、1000 人にも及ぶ日本人が居住しています。同様に、われわれの地域、特にフランクフルト市には、200 以上の日本企業が拠点を築き、成功裏にビジネスを展開しています。

このことによって緊密な共同作業が可能になっていますが、1997 年横浜市はフランクフルト事務所を開設され、その事務所の仕事ぶりは模範的で、共同作業はさらにスムーズになっています。フランクフルトのパートナー都市で、同様の事務所を直接フランクフルトに設置しているところは他になく、横浜市はまさに他の模範になると思います。

これは、横浜市がパートナー関係について、いかなる意志と力、集中力をもって臨んでいるかを示すものです。それ以来、多くの交流や相互訪問が実施されてまいりました。エネルギー効率の分野における共同の催しは、その一例です。

今度は若者に関心を持ってもらうために、両市の高校生の交換留学を促進したいと考えています。若者はわれわれの未来であります。しかしながら、友好の光を手にする次の世代の理解がとりわけ肝要です。私は、このことに関しては深い確信があります。

すでに昨日、最初の横浜日独協会等との会合において、何人かの若者と会うことができました。彼らの眼に燃えたぎる友好への熱情や、両都市間の取り組みに参画する熱い思いに触れ、そして、彼らが自らを両市の大使だと考えていることを知ることができたのは、私にとっての誇りであります。彼らは、感じの良い、勤勉な若者だという印象でした。

皆様、中心テーマは文化と教育であります。毎回横浜市に貢献いただくことで充実した内容となるフランクフルト・ニッポン・コネクション映画祭は、映画分野では日本国外で最大の日本文化の催しとなり、すっかりわれわれフランクフルトに根を下ろしています。学生が教授に同行し、フランクフルトで観客と意見交換も行います。この文化と教育の中心的観点は、教育と学術の結び付きによって補強されます。

それゆえ私たちの今回の訪問では、大学間のパートナーシップの深化にも寄与します。フランクフルト応用科学大学長から、横浜市立大学との関係を構築したいというメッセージをお届けできることを、嬉しく思います。

以前とは異なり現在では、「手の中に金ではなく、頭の中にある金にこそ価値があり、それが人と人との結びつきに堅固な基盤を築く」と言われています。

皆様、フランクフルトと横浜には多くの共通点があります。両市は、国際的な雰囲気 richness、多面的で躍動的であり、強い地域の活発な一部分をなしています。エネルギー、創造産業、自動車工業、学術に重点がありますが、なかでも外国との結びつきの強さは、両市において際立った特徴であります。

まさにそれゆえに、こうして市議会でお話をさせていただくということは、大きな荣誉であります。というのも、皆様こそが、両市のパートナーシップの礎石を築き上げてきたからです。皆様こそが、このパートナーシップを市議会のレベルで深化させることを、決断してきたのです。

交流という点で私は、非常に楽観的であります。昨日フランクフルト市議会の議長が述べたように、フランクフルト郊外で一緒に行ったサッカーのような、市民社会での小規模な活動が実施されている他に、植林活動や、このパートナーシップを推進する活力となっているいくつもの活動があります。これらの活動は、私たちのパートナーシップの背後に、いかに強い力が存在するかを示すものです。この点について、大変感謝いたしております。

フランクフルト市は、市議会議員のレベルでの交流についての、皆様の支援に感謝いたします。この交流をさらに強化していきたいと、心から希望しております。

皆様、フランクフルト市として、またフランクフルト市の市長個人として、両市パートナーシップの5年目に当たり、いくつか計画していることがあります。次の共同作業の機会として、フランクフルトで2016年5月はじめに開催されるアジア開発銀行の年次総会を心待ちにしております。横浜市は2017年の開催地として会議に参加され、また大成功を印象付けることは疑う余地はありません。

この会議が、横浜市会議員や市当局の訪問団にフランクフルトで歓迎のご挨拶をさせていただく機会となれば、非常に喜ばしく思います。皆様、心からのホスピタリティに感謝申し上げます。細やかなお心遣い、心温まる歓迎に感謝いたしております。